

令和 2 事業年度業務実績報告の概要

1. 重点項目の進捗状況、成果及び評価

(1) 概況

島根県立大学憲章の前文に掲げる「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」、「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学」の実現に向け、5つの重点分野を設定し積極的に取り組んだ。

(2) 重点分野及び成果

重点分野 1：県民からの期待に応える存在意義の高い大学

- 新学部の特設 web サイトや大学案内パンフレットといった媒体を中心に、各コースの特色について情報発信を行った。コース毎のアドミッションポリシーが明確になったことで、例年以上に意欲的な学生を募ることができた。
- 令和 4 年度入試に向けて全学的な制度設計を行った。また、入試方法や合否判定等について、アドミッションセンターで情報交換を行い、令和 3 年度入試に活かした。

重点分野 2：地域に貢献する人材を輩出する大学

- 教員や学生が県内高校 10 校に対して課題解決型学習の講義やアドバイス等を行い、高校との連携を強化した。
- 地域貢献推進奨励金制度の中に、新たに「県内企業等との連携活動コース」を設け、学生に島根県の企業等をより深く知る機会を提供した。

重点分野 3：地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

- しまね地域研究センタープロジェクト研究助成金採択事業計 6 件（浜田 2 件、出雲 3 件、松江 1 件。採択額計 2,500 千円）が、自治体や中山間地域研究センター等と連携して地域課題解決に向けて取り組み、2 年間の継続プロジェクトを完了した。

重点分野 4：国際交流・海外留学等の促進

- 国際交流に関して実施できることが限られている中、様々なツールを使用して学生同士が交流できることを企画実施した（バーチャル国際交流 全 26 回、延べ 418 名参加、海外協定校との Web 学生交流（一部授業含む）やランゲージパートナー交流 延べ 1,118 名参加、海外協定校等へのオンライン交流の呼びかけ）。バーチャル国際交流では、卒業生、高校生も参加発表し、本学留学プログラムの利用経験から繋がるキャリア紹介や本学国際交流の魅力 PR にもなった。

重点分野 5：理事長・学長のリーダーシップのもと機動的かつ戦略的な運営を行う大学

- （IR 室において）入試データの収集・分析を行い、今後のアドミッション業務に活かした。

2. 業務実績の評価方法

- 法人が自己評価を行い、これをもとに島根県公立大学法人評価委員会が検証・評価を実施。
- 「大学の教育研究等の質の向上」以外の中期目標項目については、5段階で自己評価。
 （「教育研究等」については、評価委員会が「特筆すべき点」「遅れている点」として評価）

3. 実施状況

○自己評価の状況

	社会情勢の変化に 的確に対応した 大学づくり	自主的、自律的な組 織・運営体制の確立に 関する目標を達成す るために取るべき措 置	評価制度の充実及び 情報公開の推進に関 する目標を達成する ために取るべき措置	その他業務運営に 関する重要事項に 関する目標を達成 するために取るべ き措置
R2	B (3.00)	B (3.00)	B (3.00)	B (3.11)

4. 総評

- ・令和3年度からの中期計画の改革実施期間に向けて、令和2年度計画は概ね達成できたものと判断する。
- ・引き続き、県内入学者の増加、地域人材育成のための教育プログラムの充実、卒業生の県内定着に向け一層の取り組み強化を図っていく。
 また、魅力化推進本部の設置をはじめとする大学改革の実現に向けた取り組みを着実に実施する。

(参考) 年度計画項目別評価の評価基準

5. 報告書提出までのスケジュール

- 6/23 教育研究評議会
- 6/24 経営委員会・理事会
- 6月末 県公立大学法人評価委員会へ報告書提出
- 7/14 第1回法人評価委員会（出雲キャンパス）
- 8/4 第2回法人評価委員会（県庁）

